

### 東京都シルバーパスの更新手続きは9月中旬にお願いします

有効期間が9月30日(土)までのシルバーパスをお持ちの方には、8月中旬から下旬にシルバーパスの更新についての通知と「シルバーパス更新申込書」を郵送します。更新を希望する方は、9月中旬に手続きをしてください(8月中旬の更新手続きはできません)。新しいパスの有効期間は、平成19年9月30日(日)までです。

〔持ち物〕▽シルバーパス更新申込書▽住所・氏名・生年月日の確認できるもの(保険証または運転免許証)▽現在使用中のシルバーパス▽自己負担金▽自己負担金1,000円

〔市民税が非課税であることを確認できる書類〕▽平成17年度介護保険料納入(決定)通知書 所得段階区分欄に「1」▽平成17年度市民税が非課税の方 税制改正に伴う経過措置として「1,000円」

〔更新手続き〕▽市役所2階フロアー 9月1日(金)～14日(木)午前10時～午後4時(土・日曜日を除く)▽上和泉・南部・野川地域センター 1日(金)～5日(火)午前10時～午後4時(土・日曜日を除く)▽郵送した「更新窓口案内図」記載の窓口

〔問い合わせ〕東京バス協会 ☎(5308)6950

### 平成18年度市職員募集(身体障がい者対象)

平成18年度中における職員の欠員補充のため、身体障がい者を対象とする採用資格試験を実施します。

採用予定日は平成18年12月1日です。

〔職種〕一般事務

〔受験資格〕▽昭和48年4月2日以降生まれで高等学校卒業以上の方▽身体障害者福祉法に定める身体障害者手帳の交付を受けている方▽自力通勤ができ、介護者無しに一般事務の職務遂行が可能な方▽正規の勤務時間に勤務できる方▽活字印刷による出題に対応できる方※国籍は問いませんが、地方公務員法第16条(欠

格条項)に該当する方は受験できません。

〔募集人員〕若干名

〔申込書配布〕9月14日(木)までの午前8時30分から午後5時まで(土・日曜日を除く)職員課で配布します。

※申込書は市ホームページからもダウンロードすることができます。

〔申込方法〕下表のとおり

〔提出書類〕▽受験申込書▽最終学歴の卒業証明書と成績証明書▽身体障害者手帳の写し

〔試験日〕第一次試験10月1日(日)、第二次試験18日(水)

〔問い合わせ〕職員課

#### ■申込方法

|      |   |
|------|---|
| 持参   | 〔受付期間〕9月14日(木)までの午前8時30分～午後5時(土・日曜日を除く)<br>〔受付場所〕職員課                          |
| 郵送   | 〔郵送方法〕9月12日(火)まで(消印有効)に、提出書類および受験票送付代として80円切手を封筒に入れ、配達記録で〒201-8585狛江市役所職員課へ。  |
| 電子申請 | 9月8日(金)午後5時まで<br>※写真、卒業証明書、成績証明書、身体障害者手帳の写しは、9月14日(木)午後5時までに直接職員課に提出していただきます。 |

都市高速道路外郭環状線(世田谷区宇奈根)練馬区大泉町)事業に係る環境影響評価準備書に係る都民の意見を聴く会

〔日時〕9月16日(土)午前10時30分から

〔会場〕東京都庁都民ホール(新宿区西新宿2-8-1)

※公述の申し出がない場合、聴く会は開催しませんので、ご注意ください。

#### ■公述人の募集

〔定員〕25人程度(多数抽選)

〔応募先・問い合わせ〕8月21日(月)から9月4日(月)までに東京都環境局都市地球環境部環境影響評価課 ☎(5388)3453

#### 審議会等々の公開

#### ■第6・7回狛江市補助金評価委員会

〔日時〕▽第6回 8月17日(木) 第7回 30日(水)各日午後6時

#### 狛江市公式ホームページに対するアンケートにご協力をお願いします

市民の皆さんの利便性の向上を図るため、平成19年1月に狛江市公式ホームページのリニューアルを予定しています。

今回のリニューアルでは、イベント情報を強化するほか、さまざまなキーワードから内容を分類して、閲覧することができるよう機能の搭載などを考えています。

そこで、市民の皆さんがどうしていただける機能の搭載などを考えています。

30分

〔会場〕4階特別会議室

〔問い合わせ〕企画経営室

#### ■第4回狛江市市民参加と市民協働に関する審議会

〔日時〕8月23日(水)午後7時から

〔会場〕4階特別会議室

〔問い合わせ〕市民協働課

#### ■狛江市個人情報保護審議会

〔日時〕8月16日(水)午後2時から

〔会場〕3階市議会第1委員会室

〔問い合わせ〕情報課

#### ■狛江市選挙管理委員会

〔日時〕9月2日(土)午前10時から

〔会場〕3階選挙管理委員会事務局

※傍聴は先着3人まで

〔問い合わせ〕選挙管理委員会事務局



#### 蚊帳を吊る

なぞなぞにあに「小っちゃい生きものは入れないで、大きい生きものは入れられるもの。なあに」「天井はあるけど、床のないもの。なあに」。蚊帳が夏の暮らしの中でなくてはならないものだったころの、狛江でも聞くことができた子どものなぞなぞ遊びの一つです。

江戸時代から庶民の間にも使われるようになった蚊帳は、その全国生産量が最高に達したのは昭和40年で、約300万張でした。その後は、網戸やエアコンの普及、除虫剤の改良などにより、需要は急速に落ち、いまでは蚊帳を知らない人が多くなりました。狛江でも、昭和40年代以降、新築や改築の家が急増し、蚊帳の役目は、ほぼ終わります。

「蚊帳を使わなくなっただけで、処分しちゃうかと思っただけで、むかしの暮らしの思い出に、ひと張だけとってありますよ」。大正12年9月の関東大震災のときには、地震に強くて安全だといふ竹やぶにむしろやごぎを敷いて蚊帳を吊り、何日かを過ごした。そしてまた、第二次大戦中、空襲があったとき、防空壕のある竹やぶに蚊帳を吊って年寄りや子どもを入れ、出征中の夫の留守をまもった話など、家の外での蚊帳の非常時の役目を語る人もいます。

蚊帳は麻をぎつくりと織ってあるのが普通ですが、木綿のものもありました。「色は緑色でね、

上の縁には赤い布が付いていて、麻よりも木綿の蚊帳のほうが値段が安いよね。客用などに水色のぼかしの蚊帳を使った家もあったそうです。「大きいのは十畳用、それぞれ部屋の広さに合ったよ」。蚊帳をたたむの、あれ、たいへんなのよね。あの丸い吊り手の金具の音も思い出すねえ。たたんだ蚊帳の上に病人を寝かすと、床ずれができないということも聞きました。蚊帳には、人さまさまな思い出があるようです。

「蚊帳に入るときは、団扇でパタパタと裾をあおいでね、蚊を追い払ってから、腰をかかめてさつと入って。立ったまま入ると怒られたね」。蚊帳のなかは何だか別世界みたいでね、むかしは、きょうだいの多かったから、子どもがはしゃいでね。蚊帳の天井に向けて足を蹴り上げ、足が届くと得意になったり。捕ってきたホタルを蚊帳のなかに放したりもしました。

雷が鳴ると急いで蚊帳を吊って、遠くのクワバラ遠くのクワバラと唱えながら、もぐり込み、なるべく真ん中にいるのがいいといわれました。蚊帳は雷よけだけではなく、魔よけにもなると考えられていました。

道端や畑などに生えるカヤツリグサの茎を採って、その両方を二人でつまんで裂いていくと、四角い形になります。これを吊った蚊帳に見立てる、子どもたちのカヤツリの遊びも、いまは見られなくなりました。

中島 恵子 (狛江市文化財専門委員)